

第3回目の研究では次のことについて研修・話し合いを行いました。

- (1) 「学びに向かう力」と「見方・考え方」について
- (2) 臨時休業中の各教科の課題取組の様子と改善点について
- (3) 4月当初に行った生徒アンケートの結果分析

「見方・考え方」とは来年度から施行される学習指導要領において、各教科の「目標」に示されている言葉で、「その教科ならではの着眼や学習する対象へのアプローチの仕方」のことです。例えば、現在私たちが直面している「コロナウイルス感染」の問題について、各教科で「見方・考え方」を働かせる学習課題を設定するとしたら…

理科～新型コロナウイルスの新型とは何だろう

社会～緊急事態宣言の前と後では、世の中がどのように変化するのか考えよう

英語～What can we do to stop COVID-19 pandemic? (コロナウイルスの大感染をどうしたらとめられるだろうか)

must, shouldを使って英語で自分の考えを伝えよう

などのように、同じことについて考えさせる場合でも、各教科ならではの切り口で思考や知識を深めることができます。また、授業や課題で「見方・考え方」を働かせやすい学習環境や場面を設定していくことで、「学びに向かう力」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を高めることにつながります。5月1日に各教科から出された課題には、この「見方・考え方」を働かせることにつながる内容を入れました。生徒の取組や感想には、他教科とのつながりを実感できたり、自分の生活や未来とつなげて考えることができたりした様子が見られました。

次に今年度の授業がスタートする直前に行ったアンケートの結果です。

## 【4月8日実地アンケートより 全学年 204名回答】

Q あなたが特に苦手なことはどれですか。	選んだ生徒の率	教師の予想
テストなどで必要な言葉・公式や単語などを暗記すること	58%	
計算問題・文法問題	41%	
書かれた文章を読み取って、質問に答えること	37%	
文を読み取って自分で計算式を考えたり、解いたりすること	52%	多い
与えられた記事や文章を読んで、自分自身の考えを述べること	40%	多い
地図やグラフ、表や式などを分析し、問題に答えること	42%	多い

アンケート結果と私たち教師の予想には「ずれ」がありました。単に暗記することを苦手と思う生徒が一番多いことについてはさまざまな理由が考えられます。こどもたちに身につけさせるべき「読解力」とは何なのか、どのようにその力を育むことができるのか、についての研究は夏休み以降に取り組む予定です。

